



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年8月2日

上場会社名 カーディナル株式会社
 コード番号 7855 URL <https://www.cardinal.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 弘直
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 宮家 正行
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6934-4141

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	291	4.4	4	62.6	8	50.9	0	93.2
2019年3月期第1四半期	279	2.2	12	8.6	16	8.0	10	8.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	0.36	
2019年3月期第1四半期	5.25	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	3,161	2,305	72.9	1,132.41
2019年3月期	3,055	2,326	76.1	1,142.71

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 2,305百万円 2019年3月期 2,326百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		7.00		7.00	14.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		7.00		7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	565	1.7	25	1.1	27	16.2	19	35.3	9.33
通期	1,186	2.0	95	2.4	100	5.1	69	19.0	33.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	2,143,000 株	2019年3月期	2,143,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	107,245 株	2019年3月期	107,245 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	2,035,755 株	2019年3月期1Q	2,035,756 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢は緩やかな回復基調で推移いたしました。不安定な海外情勢の動向も懸念され、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下において当社は生産部門では人手不足の問題もある中で一層の省力化投資による生産機能のレベルアップを通じて新しいサービスの提供力向上を目指すとともに、人員・設備の効率的配置により原価率の低減に努め、お客様のニーズに的確に対応する能力の高い工場生産力の強化に努めてまいりました。

営業部門では安定的な収益を確保するためには販売代理店の確保が重要課題であるとの認識のもと、印刷関連の展示会は元より販売促進関連の展示会への出展やダイレクトメールなどにより新規販売代理店の確保を推進し、既存の販売代理店に対してはインターネット（Web）上でのCard Market.jp（サテライトオフィス）により最新情報やサービスを迅速に解り易く提供し、また、カードにAR（tARget ARアプリ）を付加したサービスなどによりさらなる関係強化に着手してまいりました。

生産部門と営業部門の連携によりきめ細やかな生産管理を行い、原価意識を持って社内生産の拡大と設備稼働率の向上を図りコスト削減と品質向上に努めてまいりました。

しかしながら、当社が得意とする小ロット・多品種分野においてNET業界の価格競争に巻き込まれるなど大口ロットとなる流通業界（小売店・量販店）の受注は順調に確保できたものの収益性の低い受注の比率が増加したこともあり経営環境は厳しい状況で推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高が291,335千円と12,213千円（前年同期比4.4%増）の増収となりましたが、営業利益では4,642千円と7,762千円（前年同期比62.6%減）、経常利益では8,236千円と8,547千円（前年同期比50.9%減）、四半期純利益では727千円と9,950千円（前年同期比93.2%減）の減益となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期末の流動資産は、受取手形及び売掛金が16,308千円減少しましたが、現金及び預金が135,207千円増加したこと等により、前事業年度末に比べて115,835千円増加し1,913,171千円となりました。固定資産は、繰延税金資産が8,357千円、投資有価証券が6,404千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて9,317千円減少し1,248,405千円となりました。この結果、資産は前事業年度末に比べて106,518千円増加し3,161,577千円となりました。

（負債）

当第1四半期末の流動負債は、未払金が35,695千円、支払手形及び買掛金が16,870千円増加したこと等により、前事業年度末に比べて85,959千円増加し485,110千円となりました。固定負債は、役員退職慰勞引当金が28,107千円減少しましたが、長期借入金が67,656千円増加したこと等により、前事業年度末に比べて41,530千円増加し371,164千円となりました。この結果、負債は前事業年度末に比べて127,490千円増加し856,274千円となりました。

（純資産）

当第1四半期末の純資産は、その他有価証券評価差額金が7,449千円減少したこと等により、前事業年度末に比べて20,972千円減少し2,305,302千円となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,306,682	1,441,889
受取手形及び売掛金	311,162	294,853
電子記録債権	47,785	39,017
商品及び製品	52	52
仕掛品	54,812	63,288
原材料及び貯蔵品	65,115	65,082
未収還付法人税等	8,613	9,391
その他	5,984	2,268
貸倒引当金	△2,871	△2,670
流動資産合計	1,797,335	1,913,171
固定資産		
有形固定資産		
建物	963,594	965,504
減価償却累計額	△740,880	△744,224
建物（純額）	222,713	221,279
機械及び装置	1,123,905	1,142,875
減価償却累計額	△820,561	△837,912
機械及び装置（純額）	303,344	304,962
土地	272,988	272,988
その他	169,360	175,104
減価償却累計額	△153,645	△155,495
その他（純額）	15,715	19,608
有形固定資産合計	814,761	818,839
無形固定資産		
その他	3,794	4,273
無形固定資産合計	3,794	4,273
投資その他の資産		
投資有価証券	154,782	148,378
保険積立金	184,758	185,646
繰延税金資産	96,438	88,080
その他	3,380	3,251
貸倒引当金	△193	△64
投資その他の資産合計	439,166	425,293
固定資産合計	1,257,723	1,248,405
資産合計	3,055,059	3,161,577

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	176,461	193,332
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	46,829	55,992
未払金	135,576	171,271
未払法人税等	619	2,683
賞与引当金	13,900	2,200
その他	15,764	49,630
流動負債合計	399,151	485,110
固定負債		
長期借入金	80,356	148,012
再評価に係る繰延税金負債	2,366	2,366
退職給付引当金	161,728	163,710
役員退職慰労引当金	84,261	56,153
資産除去債務	921	921
固定負債合計	329,633	371,164
負債合計	728,784	856,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	323,200	323,200
資本剰余金	100,600	100,600
利益剰余金	2,043,835	2,030,312
自己株式	△43,010	△43,010
株主資本合計	2,424,624	2,411,101
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△19,409	△26,858
土地再評価差額金	△78,940	△78,940
評価・換算差額等合計	△98,349	△105,798
純資産合計	2,326,274	2,305,302
負債純資産合計	3,055,059	3,161,577

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
売上高	279,121	291,335
売上原価	197,049	216,147
売上総利益	82,072	75,187
販売費及び一般管理費	69,668	70,545
営業利益	12,404	4,642
営業外収益		
受取利息	3,050	2,002
受取配当金	1,281	1,404
受取賃貸料	45	30
その他	271	427
営業外収益合計	4,649	3,863
営業外費用		
支払利息	270	197
その他	-	72
営業外費用合計	270	269
経常利益	16,783	8,236
特別利益		
投資有価証券売却益	-	269
特別利益合計	-	269
特別損失		
投資有価証券評価損	-	6,295
特別損失合計	-	6,295
税引前四半期純利益	16,783	2,210
法人税等	6,105	1,483
四半期純利益	10,677	727

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。